

K1-5390 Femto 開瞼器、平ワイヤー



この開瞼器は 15mm長の平ワイヤーと水平操作機構を組み合わせ、眼球への外部からの圧を大幅に減らせることで、レーザー照射が可能がより容易になりました。シャンク部は患者のこめかみに沿うよう 55度の角度がついており、術野の妨げになりにくくなっています。ねじ式の簡易な操作で、ブレードを任意の位置に安全に固定できます。

K7-5085 シュー氏 水流分離カニューラ、25 ゲージ スパーテル状



ミネソタ州ブルーミントンのラルフ・シュー氏は、フェムトセカンドレーザーによる白内障手術の為にこのカニューラを開発しました。薄く 0.75mm長のスパーテル状の先端は、カプストロミーの縁に容易に滑り込ませることができ、ハイドロダイセクションに最適な面を探すのに役立ちます。平らな薄い 25 ゲージの構造で、分割中の流動を確保します。



K5-7270 Femto 核鑷子、22 ゲージ

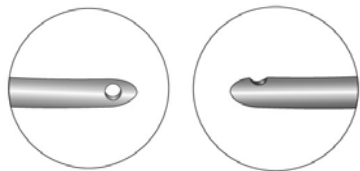


この多用途に使用可能な鑷子は、フェムトセカンドレーザー白内障手術において特に有用です。広く平らで砂地加工された先端は 90 度に曲がり、レーザーで作成した蓋部を把持/解放したり、不完全な嚢切開を終了したり、レーザー作成した切開創から眼内へ挿入し、核粉砕片をフェイコプローブへよせる等、多岐に渡り使用可能です。22 ゲージの先端部は切開の初期段階、あるいは穿刺のどちらでも使用できます。リバーアクション鑷子なので、ハンドルを握ると先端が開き、放すと閉じます。



K7-5818 シュー氏 吸引ハンドピース、オーバル、21G、0.4mm 穴

K7-5839 シュー氏 灌流ハンドピース、オーバル、21G、0.5mm 穴



バイマニュアル I/A ハンドピースは白内障手術の間で一般的になりつつあります。この器具は切開創を拡大することなく、囊の1/4 からの皮質物質除去が可能です。シュー氏は最大灌流量をコントロールできるように、スタンダードのバイマニュアルハンドピースを改良しました。楕円状のチューブはスタンダードの円形チューブの器具に比べ容量が増えたことで切開創を閉じやすく、さらにチューブ部の壁厚を薄くしたことで約 15%内部容量が増え、最適な灌流量を得られます。吸引ハンドピースは 0.4mm の前面シングルポートを先端に非常に近い場所に設置し操作性に優れています。灌流ハンドピースは 2 点の 0.5mm サイドポートで、適切な前房維持が可能です。



Designed by Ralph Chu, MD of Bloomington, MN

K3-1111 アニス氏前囊研磨具



およそ 15~20 年前に好評を博していたアニス氏前囊研磨具を再びご紹介します。1.5mm 幅、砂地加工、円盤状の先端は、優しく前囊を研磨することが可能です。シャフト部は非常に細くフレキシブルで、圧力を程良く吸収するので前囊表面に安全に接することができます。滅菌/保管時にチップガードキャップが付属しています。



K3-6162 ファイン・ソントン氏転環固定リング 13mm 平歯



既存のファイン・ソントン氏転環固定リング(K3-6161)は変わらぬ人気を得ていますが、今回一部加工品を新製品として採用しました。既存のリングは、歯がシャープすぎると感じる術者もあり、その要望に応えるべく、より大きく平らな歯の新しいファイン・ソントン氏リングを作成しました。被検者の眼球をより少ない痛みで固定することが可能です。また、歯の製作に必要な時間が少ない為、価格も低く設定できました。この新モデルには、一部の術者が角膜輪部減張切開術のガイドとして使用する 15 度のマーキングが前眼部表面にありません。



K5-8510 KAMRA™ インレー鑷子



KAMRA™インレーは老眼と近/中距離の視力を矯正するために開発された角膜内インプラントです。このインプラントは直径 3.8mmのマイクロディスクで、中央部が 1.6mm径で空いており、よりよい視力のために焦点光を網膜へ届けるとともに非焦点光をブロックします。このインプラントは角膜内皮のポケット状の切開部内もしくは LASIK フラップ下に設置されます。この鑷子の先端部は非常に薄く、入念に研磨されたパドル状で、インプラントの操作、設置、除去に有用です。



K5-7743 プラサド氏 極小結紮鑷子、直、23 ゲージ K5-7753 同 、曲、23 ゲージ



キャプスラーテンションリング (CTR) とキャプスラーテンションセグメント (CTS) の導入により、小帯脆弱の患者での白内障手術が推進しました。これらは比較的容易に挿入できますが、正しい設置や固定は容易ではありません。このために、英国のソム・プラサド氏は 2 種類の極小鑷子を開発しました。K5-7743 はカーブした 25mm の長いシャフトで、先端部は 2.65mm です。噛みあわせ内部は砂地加工が施され、細い縫合糸でも把持しやすいようになっています。K5-7753 もシャフトはカーブした 25mm で、先端部は後嚢に面するようになっています。先端からカーブ始点は 1mm で、術者が眼内操作中に CTR/CTS を把持し、設置の微調整や手術過程でその効果を発揮します。最適な把持のために、こちらも先端内部表面は砂地加工されています。



K4-3002 サーキシアン-ウェストコット氏剪刀、1mm 刻



オクラホマ州のスティーブン・サーキシアン氏は、緑内障や眼形成術のためにこの新しい剪刀を設計しました。既存のウェストコット氏結膜剪刀(小刃、K4-3000)の一方の刃の表面に、1mm刻 9か所のマーキングが施してあります。このマーキングにより、術中にルーラーやカリパーに器具を交換する手順を省くことが可能です。この器具についての詳細要綱とビデオを現在準備中で、近日中に発表予定です。



K5-5091 ユートラタ氏 MICS 前囊破除鑷子



既存のユートラタ鑷子(K5-5081)はC C Cにおいて使用される鑷子の一つとして好評を博しています。この度、極小切開術(2.2mm幅)へ転向する術者に向け、最大解放幅を2.0mmに制限する機構を持ち、最少1.8mm創口からの操作が可能な新モデルを提供いたします。



製造中止

K2-8210 ナイロンブロック 3個入 (JFC在庫なし)

K3-8117 マクドナルド氏光学領域マーカー 両頭 (JFC在庫1ヶ/2013年7月在庫限り案内済)